

科目名	ベーシックヘアメイクⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中村 好沙
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日1, 2限 月曜日3, 4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場でのヘアメイクを想定した基礎のヘアースタイルについての技術と理論を習得する。							
〈講師経歴〉 美容師を経て、フリーランスとしてセットサロンに所属しながら声優、舞台、ショー、イベント、ブライダルのヘアメイクに従事。セットサロンでは15年以上スタッフ育成の講師も務める。							
【授業を通じての到達目標】							
実際に人に施すヘアを想定し、相モデルを中心とした実技授業にて、基礎技術と知識、ヘアプロダクト(スタイリング剤)の使用方法を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ハンドドライ、ブロー、ストレートアイロンの技術を習得する						
2	ハンドドライ、ブロー、ストレートアイロンの復習 一束ゴム結びの技術を習得する						
3	ハンドドライ、ブロー、ストレートアイロン、一束ゴム結びの復習 ゴム隠しの技術を習得する					小テスト 10点	
4	1～3までの復習 パートバリエーション、スライスに合わせたコームの使用方法を習得する						
5	1～4までの復習 ブレイド技術を習得する						
6	ブレイド×一束 中間テスト練習						
7	ブレイド×一束 中間テスト					中間テスト 20点	
8	ダウンスタイル根本ブロー、ストレートアイロン毛先カールの技術を習得						
9	ダウンスタイル根本ブロー、コテ技術の習得						
10	ハーフアップスタイル、ヘアスタイルに合わせたブロー、ピンングの技術を習得						
11	モデルに合わせたハーフアップスタイル、顔まわりのつくりこみ 前回の復習					小テスト 10点	
12	編み込みバリエーションの習得 (くずし、タイトロープ、タイトロープくずし)						
13	モデルに合わせた編み込みバリエーションスタイル 似合わせと編み込みバリエーションの復習						
14	定期テスト練習						
15	定期テスト					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ベーシックヘアメイクⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福島 裕司
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
				曜日・時間	月曜日1, 2限 月曜日3, 4限		
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
BAとして必要な基本的な化粧品や皮膚構造や働きなどについて理解する。							
〈講師経歴〉 化粧品ブランドでメイクアップアーティストとして実務。メイク技術ならびに化粧品知識の教育業界における教授に長く携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
ブランドの特徴や商品の違いを理解し、ブランドイメージに合わせてメイクアップができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	化粧品業界について						
2	外資系ブランド ①					小テスト4点	
3	外資系ブランド ②						
4	国産ブランド ①					小テスト4点	
5	国産ブランド ②						
6	リサーチ&プレゼンテーション						
7	最新クリスマスコフレ					中間テスト20点	
8	メイク実習とプレゼンテーション						
9	外資系ブランド ③					小テスト4点	
10	国産ブランド ③						
11	2022年 春メイク					小テスト4点	
12	人気ブランドを知る1						
13	人気ブランドを知る2					小テスト4点	
14	メイク実習とプレゼンテーション						
15	メイク実習とプレゼンテーション					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ベーシックヘアメイクⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐々木 さをり
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日1, 2限 月曜日3, 4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとして必要な基本的な化粧品や皮膚構造や働きなどについて理解する。							
＜講師経歴＞ 化粧品販売経験、フリーランスとしてメイク施術に従事している。また、メイクアップカラーアドバイザー認定講師の資格を持つなど、カラーアナリストとして活動をしている。その経験をもとに、現場で求められる最新の技術・知識を提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な肌知識、化粧品知識を修得する。化粧品販売員検定ブロンズ合格。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
化粧品検定3・2級テキスト							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	この授業について 3級内容(～35P) この授業について理解する 間違いがちな美容知識について理解する						
2	3級内容 36～49P 間違いがちな美容知識について理解する						
3	2級内容 52～59P 皮膚構造 皮膚構造・表皮について理解する。					5	
4	2級内容 60～69P 皮膚構造 皮膚構造・真皮・付属器官、皮膚の機能について理解する						
5	2級内容 72～77P 肌のお手入れと正しい知識 肌タイプと見分け方 肌悩みの原因と対策について理解する 乾燥					5	
6	2級内容 78～83P 肌のお手入れと正しい知識 その2 肌悩みの原因と対策について理解する ニキビ・毛穴						
7	中間試験 83Pまでの内容 筆記テスト 一般的な美容知識と皮膚構造、肌悩みにについて理解する。					20	
8	2級内容 84～89P 肌のお手入れと正しい知識 その3 肌悩みの原因と対策について理解する くすみ						
9	2級内容 90～93P 肌のお手入れと正しい知識 その4 肌悩みの原因と対策について理解する くま・しわ・たるみ					5	
10	2級内容 94～108P メイクアップの基本 メイクアップの基本テクニックのポイントを理解する。						
11	2級内容 112～119P 肌の劣化 肌劣化の原因と仕組みについて理解する						
12	2級内容 120～125P 紫外線が肌に与える影響 紫外線の種類、紫外線が肌に与える影響を理解する。					5	
13	2級内容 126～130P 効果的なマッサージ 効果的なマッサージの必要性和方法を理解する						
14	2級内容 132～139P 生活習慣と美容 美しい肌を作る生活習慣について理解する。						
15	定期試験 139Pまでの内容 筆記テスト 肌悩みとお手入れ方法、メイクの基本テクニック、肌劣化、紫外線の影響、生活習慣について理解する					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	関 亜沙美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
フルメイクの反復練習で基本的なメイク技術の向上をめざす。デモンストレーションを見てメイクプロセスやポイントを書き取りメイクレシピを作成し、セルフメイクすることでテーマメイクのポイントを確実に覚え、様々なテーマに合わせたメイクができるようになる。様々なコスメを駆使してフルメイクができるようになる。							
〈教員経歴〉 ヘアサロンで美容師として勤務後、美容部員として実務。教育業界にも長年従事している。							
【授業を通じての到達目標】							
様々なテーマメイクのポイントを理解し、イメージに合わせたアイテム選びをし、フルメイクで表現できる技術力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料 ノート							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ナチュラルカラーメイク①デモンストレーション セルフメイク この授業の目的・目標を理解する。メイクポイントノートを作成し、ナチュラルカラーメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
2	ナチュラルカラーメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせナチュラルカラーメイクができるようになる					5	
3	キュートメイク(ソフト)①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、キュートメイク(ソフト)のPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
4	キュートメイク(ソフト)② 相モデル実習 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる						
5	キュートメイク(ポップ)①デモンストレーション セルフメイク キュートメイク(ポップ)のPointを理解しセルフメイクができるようになる。					5	
6	キュートメイク(ポップ)②相モデル実習 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる						
7	中間試験 メイク実技 ノート提出 モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。					20	
8	クールメイク①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、クールメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
9	クールメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる					5	
10	ゴージャスメイク①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、ゴージャスメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
11	ゴージャスメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせゴージャスメイクができるようになる。					5	
12	アイフォーカスメイク①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、アイフォーカスメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
13	アイフォーカスメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせアイフォーカスメイクができるようになる						
14	リップフォーカスメイク解説 相モデル実習 メイクポイントノートを作成し、モデルの顔に合わせリップフォーカスメイクができるようになる						
15	定期試験 メイク実技 ノート提出 モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉原 道則
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日1.2限 水曜日3.4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 実務経験豊富なヘアメイクアーティストから現場でのヘアメイクを想定した基礎のヘアースタイルを学ぶ。 学んだ基礎をもとに様々な技術を組み合わせたスタイルに挑戦し、人頭の施術を通して髪質、カットラインに合わせた技術選択や、 モデルやイメージに合わせた構成を学び、バリエーション豊かなデザインを表現することができるようになる。							
＜講師経歴＞ 美容師免許取得後、ヘアサロンで美容師として勤務していた。その後セットサロン、ヘアメイク事務所に所属。様々なヘアメイク現場で活躍している。							
【授業を通じての到達目標】 世界観、モデル、背景、ライティング、画角全体を想定して施術。イメージをつたえる。（スチール） 非日常で独創性のあるデザイン、技術力を習得する。（コンテスト）							
【使用教科書・教材・参考書】 ヘアメイク道具一式				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	スチールについて導入。デザインの考え方						
2	バリエーションの技術習得						
3	バリエーションの技術習得					小テスト 10点	
4	バリエーションの技術習得						
5	バリエーションの技術習得						
6	メイクとのバランス						
7	中間テスト(スチール本番の最終確認)					中間テスト 20点	
8	コンテストについて導入。デザイン、コンセプトシート書き方						
9	バリエーションの技術習得						
10	バリエーションの技術習得						
11	バリエーションの技術習得					小テスト 10点	
12	バリエーションの技術習得						
13	バリエーションの技術習得						
14	メイクとのバランス						
15	定期テスト(コンテストデザイン)最終チェック					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ヘアメイク総合技術Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大瀬 順子
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	水曜日1,2限 水曜日3,4限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクやスキンケアなどの応用を理解し、メイクの色や形など応用技術を学ぶ。 ヘアと同時進行で授業を進め、ヘアメイクの総合技術またトレンドを身につけ現場などで活かせる技術を習得する。							
<講師経歴> 外資系化粧品ブランドで13年以上メイクスキル指導やメイクアップアーティストとして実務。ファッションショーのバックステージやMV、CM等のメイクにも携わる。 メイクアップアーティストとして実務しながら美容師免許を取得し、現在はメイクだけではなくヘアメイクも行っている。 その経験をもとに、現在の現場で求められる最新の技術・知識を提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を修得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾、手指消毒液							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	Hair & Make合同 スチール説明会						
2	トレンドメイクを習得する						
3	Black Eye Makeを習得する						
4	コントゥア・グリッター・つけまつげ						
5	ペイント(グラデーション・マスキングテープ)						
6	ヘア&メイク合同 各自スチール練習					小テスト 5点	
7	ヘア&メイク合同 各自スチール練習					中間テスト 20点	
8	模写メイクを習得する						
9	模写メイクを習得する						
10	ウィッグ導入+持ち込み模写					小テスト 5点	
11	バリエーション技術の習得						
12	バリエーション技術の習得						
13	ウィッグ作成					小テスト 5点	
14	ウィッグ作成					小テスト 5点	
15	定期テスト					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	現場トレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 香菜子
学科	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日1, 2限 木曜日3, 4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
美容師および美容学校で長く実務経験のある教員が担当 自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、イメージ写真を具現化していくことを体得していく 自分の技術をアピールする力を身につけることができる ＜教員経歴＞ 美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアーティスト・ヘアメイクアシスタントに必要な知識・技術を習得する ヘアメイク現場の実践イメージを掴むことが出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時にteams共有				毎授業時にteams共有			
回	科目	授 業 概 要				テスト 配点	
1	ブロー演習	ハンドドライ、カールアイロン技術の体得（平巻き・縦巻き・巻きつけの復讐）（スパイラル巻き・毛先逃がし巻き・ストレートアイロン） 基本的なアイロン技術を習得することができる					
2		デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、シルエットの理解 ブラシの使い方を理解することができる					
3		デンマン&ロールブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレート アイロンによる波ウェーブ ワンレングスをブローし、ブラシの違いを理解することができる					
4		ロールブラシによるワンレングスのブロー、 カールアイロンによる波ウェーブ ロールブラシを使ってブローができる					
5		ブロー、アイロン技術を取り入れ、スタイルを完成することができる					
6	シャンプー演習	シャンプーの流れを理解する 相モデルでシャンプーの流れ、洗い方を学ぶ/シャンプーの手順を覚える					
7		中間テストトリートメントの仕方を理解する ウェット、シャンプー、トリートメントを通して出来るようになる					
8		マッサージの流れを理解する ヘッドマッサージの技術、手順を覚える					
9		ヘッドスパの流れを理解する ヘッドスパの手順を覚える/頭皮のツボを覚える					
10		時間を意識した施術をする 目標タイム20分で施術が出来るようになる					
11	メンズスタイリング 演習	メンズスタイリングとレディーススタイリングの違いを知る					
12		スタイル別ヘアセットの解説					
13		スタイリングベースづくり(ウィッグ使用)					
14		アイロンを使用したスタイリングづくり					
15		ヘアスタイリング剤を使用してスタイル別ヘアセット					
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	現場トレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	齋藤 麻衣
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日1, 2限 木曜日3, 4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 ビューティアドバイザーとして実際に接客をする際に、相手に伝えることを主としてその語彙や手法について学ぶ							
【教員】長年の美容部員経験のある職員が、実際に相手に伝えることをテーマとして授業を行う							
【授業を通じての到達目標】							
接客時に商品の良さを伝えられるようになる手法を理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料・教材配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	プレゼンテーションの意義・ビューティアドバイザーとして						
2	まずは「聴く」力を理解する。傾聴について					小テスト 5点	
3	話し方について理解する・話し上手の3つの基本						
4	説得上手の手法を理解する						
5	相手に伝わるコミュニケーションについて理解する					小テスト 5点	
6	話し方・聞き方についての振り返り						
7	前半の学びを振り返り、言葉のみのプレゼンテーションの実施					中間テスト20点	
8	視覚に訴えるプレゼンテーションの理解						
9	書いて相手に伝える技法を理解する					小テスト 5点	
10	自己理解・他者理解について						
11	ジョハリの窓について					小テスト 5点	
12	インタビューとフィードバックの実践						
13	化粧品を基にしたプレゼンテーションの準備						
14	化粧品を基にしたプレゼンテーションの実施						
15	化粧品を基にしたプレゼンテーションの実施②					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●評価はS・U・Eでおこなう。 S…合格(認定) U…不合格(認定せず) E…不合格(出席不良) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 直美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	木曜日2限 木曜日3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク業界の理解を深め、社会人として必要な教養・マナーを学び、現場実習に活かすことが出来る ヘアメイクの業種・分野を理解し、自身の将来像を明確にすることができる 就職活動における基盤を作り、スムーズに実践できるようになる							
<教員経歴> 美容業界で活躍後、本校に従事している							
【授業を通じての到達目標】							
美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることが出来る 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出し、自主的に行動できるようになる 自己分析することができ、就職活動における基本的な履歴書作成ができるようになる 志望する業種・分野をしぼることができ、インターンや現場実習に積極的に参加することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【持ち物】			
毎授業時にteams共有				就職活動ノート・筆記用具			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	前期を振り返り、後期目標を設定し、自己変革期に向けスタートを切る 後期授業・スケジュールを理解し、自分自身で今後のスケジュールリングが出来る 就職活動の流れを理解することが出来る【就職活動ノート①】						
2	在校生(2年生)の話を聞き、進路・就職活動について考える 就職活動ルールを理解することができる【就職活動ノート②】						小テスト5点
3	履歴書のルール・マナーを理解し、左半分を完成させることができる【就職活動ノート③】						
4	卒業生(HM・BR)の話を聞き、進路・就職活動について考える 自己分析を行い、自分自身について専門的に知り、内容をまとめることが出来る【就職活動ノート④】						
5	他己分析を行い、他人の長所発見とシェアが出来る より客観的に自分の長所について理解し、まとめることができる【就職活動ノート⑤】						小テスト5点
6	卒業生or業界(セットサロン・美容師・アイリスト)の話を聞き、進路・就職活動について考える プレ職種決定アンケート①にて自分の進路について真剣に考える						
7	【中間テスト】6週目までの内容を理解し、アウトプットすることができる 自己PRの書き方のポイントを知り、2つの文章を完成することが出来る【就職活動ノート⑥】						中間テスト20点
8	卒業生(HM)の話を聞き、進路・就職活動について考える 志望動機の書き方のポイントを知り、文章を完成することが出来る【就職活動ノート⑦】						
9	履歴書完成させ、学校提出を完了できる						
10	プレ職種決定アンケート②にて自分の進路について真剣に考えることができる 選択職種の業界研究・業界研究シート作成						
11	選択職種の業界研究・業界研究シート作成 作った業界研究に沿って効果的なプレゼンテーションの練習をすることが出来る						
12	業界研究シート作成発表 相手に見やすく・分かりやすくシートをまとめることができる 自分の思いをのせて、堂々とプレゼンテーションが出来る						小テスト10点 (期限内提出点 5点 発表点 5点)
13	(確定版)職種決定アンケートにて今後自分が進む進路に向けて決意を新たにする 集団模擬面接のマナー・礼儀・ポイントを理解する						
14	集団模擬面接練習 受験生側と面接官側の両方を体感し、気づきを得ることが出来る						
15	【定期テスト】集団模擬面接試験 面接試験を行い、入退室マナー・自己PR・長所短所などについて面接官からフィードバックを受け 出来ているところ・努力すべきところを把握できる						定期テスト60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	デザインイラスト演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐々木 さをり
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期 集中
						曜日・時間	金曜日1限～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)講師50音順 現場経験豊富なヘアメイクアーティストから、実際の現場で活用できるイラスト、メイクフェイスチャート、デザインについて学ぶ <講師経歴> 化粧品の販売や、フリーのメイクアップアーティストとして活躍している。メイクアップカラーアドバイザー認定講師の資格を持つなどカラーリストとしても活躍している。							
【授業を通じての到達目標】 各授業デモンストレーション時のメモと、スチール撮影、コンテスト時に使用するコンセプトシートの描き方(電子&メイク道具)を習得し、様々な業種、アプローチ方法の選択肢を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
teamsコマシラバスに記載							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	電子イラスト ラフデザイン～仕上がり アイデアの広げ方 コンセプトシート ※仕上がりデータ回収						
2							
3							
4							
5	前回電子イラスト優秀者公表 フェイスチャート 仕上げ 優秀者発表						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	コンテスト	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 直美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期 集中
						曜日・時間	金曜日1限～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する <教員経歴> 美容業界で活躍後、本校に従事している。							
【授業を通じての到達目標】							
ウィッグを対象に、コンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 コンセプト作成及び仕込み						
2							
3							
4							
5							
6							
7	【到達目標】 テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む コンセプトをもとに、必要な材料をそろえる						
8							
9							
10	【授業単元】 コンセプト発表						
11							
12							
13	【到達目標】 コンセプトシートを基に、ウィッグにヘアメイクを施す 制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う						
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	オリエンテーション・導入教育Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 直美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中 指定期間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
後期の学習のイメージをつけることができる <教員経歴> 美容業界で活躍後、本校に従事している							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プロント配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 スケジュール確認 【到達目標】 後期のスケジュールが理解できるようになる						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職課有働について・教材理解・教科書理解 【到達目標】 後期の授業概要を理解し、これからの学びのイメージを持つ 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	業界研究Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 直美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 集中 金曜日1限～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォトスタジオ)						
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事をイメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り						
【到達目標】ヘアメイクの仕事をトータルな視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる							
【特記事項】					【評価について】		
					●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施		
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)		
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名	特殊メイク演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 香菜子
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中 金曜日1限～4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
普段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。							
＜講師経歴＞ 美容師経験・ヘアメイク経験のある実務経験者が担当する。現場での経験をもとに授業を展開する。							
【授業を通じての到達目標】							
血のりやパテ等、特殊メイク教材を利用し、特殊メイクを仕上げる事が出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅰ 【到達目標】キズ、アザの基本・色・位置等を学ぶ。古傷の作成。						
2	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅱ 【到達目標】古傷の作成(完成まで)。火傷等の基本・色・位置等を学ぶ。						
3	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅲ 【到達目標】パテ等を利用した立体的な傷を学ぶ。						
4	【授業単元】中間テスト ドラマ・映画ヘアメイクⅠ 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の基礎を学ぶ。						
5	【授業単元】ドラマ・映画ヘアメイクⅡ 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の応用を学ぶ。						
6	【授業単元】小テスト イベントヘアメイクⅠ 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの基礎学習。						
7	【授業単元】イベントヘアメイクⅡ 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの応用学習。						
8	【授業単元】定期テスト 【到達目標】血のり等を使用し、手早くリアルな傷を作る。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	業界特別授業Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 直美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期 集中 金曜日1限～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各企業より人事担当者が来校し、業界周辺の状況と顧客ニーズ、トレンド分析を実施する							
【授業を通じての到達目標】							
将来の就職分野の状況を知る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
2	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
3	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
4	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
5	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
6	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
7	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
8	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
9	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
10	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
11	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
12	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
13	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
14	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
15	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
【特記事項】				【評価について】			
				●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	総合演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 直美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中 金曜日1限～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファイナンシャルプランナーから社会人として自立するための経済的な知識を学ぶ <教員経歴> 美容業界で活躍後、本校に従事している。							
【授業を通じての到達目標】							
自らの収支に対する意識が持てるようになり、就職後の生活をイメージ出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 本講座について説明						
2	【到達目標】 事前準備						
3	【授業単元】 税金・社会保険について						
4	【到達目標】 各種税金の内容について知る						
5	各種社会保険の仕組み、内容について知る						
6	【授業単元】 確定申告について						
7	【到達目標】 確定申告の種類、申告方法について知る						
8							
9	【授業単元】 ライフプラン、生計プランについて						
10	【到達目標】 ライフプラン、生計プランの立て方を知る						
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 特別講座は出席評価とする			

科目名	国際教育	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 直美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期 集中
						曜日・時間	指定期間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
海外のヘアメイク技術を知り、知見を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイクの幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 海外のヘアメイク事情						
2	【到達目標】 ・日本と海外のヘアメイクの違いについて調べ、学習や発表を通して理解を深める ・海外研修プログラムの概要を理解する						
3							
4							
5	【授業単元】 海外研修を理解する						
6	【到達目標】 ・ヘアメイク科で毎年行っている海外研修の内容を理解し、イメージを広げる ・昨年参加した先輩から話を聞き、学びを深める ・研修先の施設を調べ、どのようなプログラムが行われたのかを理解する						
7							
8							
9	【授業単元】 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演①						
10	【到達目標】 ・海外研修先のロサンゼルスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる ・海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する ・日本との違いを学ぶ						
11							
12							
13	【授業単元】 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演②						
14	【到達目標】 ・ロンドン、フランスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる ・国ごとの考えの違いや、顧客の違いを理解する ・海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する ・海外での学びの重要性を理解する						
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	専攻別レッスンⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中山 由美
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中 金曜日1限～4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
実務経験豊富なヘアメイクアーティストからヘアの応用技術を学ぶ。 学んできた基礎をもとに様々な技術を組み合わせたスタイルに挑戦し、人頭の施術を通して髪質、カットラインに合わせた技術選択や、モデルやイメージに合わせた構成を学び、バリエーション豊かなデザインを表現することができるようになる。							
＜講師経歴＞ ヘアメイク事務所所属。様々なヘアメイク現場の経験を持つ。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、スチール用にモデルをヘアメイクできるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションA 【到達目標】						
2	撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのヘアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						
3	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションB 【到達目標】						
4	撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのヘアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						
5	【授業単元】 イメージヘアメイク①A 【到達目標】						
6	イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
7	【授業単元】 イメージヘアメイク①B 【到達目標】						
8	イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
9	【授業単元】 イメージヘアメイク②A 【到達目標】						
10	イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
11	【授業単元】 イメージヘアメイク②B 【到達目標】						
12	イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
13	【授業単元】 ビジュアルコピーヘアメイク AB合同 【到達目標】						
14	コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。						
15	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。						
【特記事項】				【評価について】			
				●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	専攻別レッスンⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	内藤 麻代
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中 金曜日1限～4限
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
美肌検定に合格できるための必要な知識を学ぶ							
〈教員経歴〉 エステティシャン、エステティック講師として25年以上関わっており、将来美容業に携わる為に美肌の知識を深めるとともに、周りの方にもアドバイスができるようになるよう普段の生活にも参考になるような知識を伝えられる。							
【授業を通じての到達目標】							
美肌検定に合格する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美肌検定テキスト							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	美肌の条件、美肌度チェック、美肌維持について(P.8～13)						
2	美肌ケアの基本、運動、栄養について(P.16～24)					小テスト4点	
3	皮膚の構造と働きについて(P.26～27)						
4	4つの肌タイプ、表皮のターンオーバー、真皮の構造機能について(P.28～31)					小テスト4点	
5	しわ、たるみについて(P.32～33)						
6	年代別お手入れ方法、男性の肌のお手入れ方法について(P.34～38)						
7	中間テスト（筆記テスト）					中間テスト20点	
8	細胞再生修復、睡眠とホルモン、女性ホルモン、お手入れについて(P.40～46)						
9	体調と肌、活性酸素とは、活性酸素の要因、紫外線について(P.48～53)					小テスト4点	
10	女性ホルモンと肌、温度・湿度と肌、季節にあったお手入れ方法について(P.54～59)						
11	クレンジングと洗顔、美肌を育む、与えるスキンケアについて(P.62～65)					小テスト4点	
12	化粧品の基本の使い方と選び方、化粧品の原料と役割、自分の肌に合う化粧品の見つけ方、薬機法						
13	フェイシャルマッサージの効果、美肌維持に関係する表情筋、セルフマッサージについて					小テスト4点	
14	美肌を作る簡単ストレッチとボディマッサージ、ハンドネイルケアについて						
15	定期試験（美肌検定試験）					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			